

新基地建設反対名護共同センターニュース

安里島ぐるみの会が 147 回目のスタンディング

「止めよう！辺野古新基地建設」 全国38か所で総行動

「止めよう！辺野古新基地建設」を掲げた国会包囲行動が5月25日、5000人の参加で行われました。主催は総がかり行動実行委員会、国会包囲実行委員会、基地の県内移設に反対する県民会議です。この日、全国総行動が呼びかけられ32都道府県38カ所で宣伝行動や集会在繰り広げられました。

国会正門前で主催者あいさつした国会包囲実行委員会の野平晋作さんは「米軍基地問題を解決し、日本に平和と民主主義を実現しよう」と訴えました。作家の落合恵子さんは、「民意に耳を傾けない政府は国民の政権ではない」と語り、ヘリ基地反対協議会安次富浩共同代表は、「勝つことはあきらめないこと」と決意を述べました。

玉城デニー沖縄県知事からメッセージが紹介され、共産党の小池晃書記局長など立憲民主党、国民民主党、社民党の代表があいさつしました。

憲法共同センターが担当した国会図書館前のステージでは、沖縄県統一連の瀬長和男事務局長が報告し、大浦湾の軟弱地盤の問題など辺野古新基地をめぐる状況を報告、全国が一体となったたたかいで辺野古新基地を阻止しようと呼びかけました。

(通信と写真の協力=安保破棄中央実行委員会)



思い思いのパネルを掲げ
那覇市の「安里・大道・松川島ぐるみの会」は27日、タカラ鉄美参院沖選挙区予定候補(写真中央)とともに第147回目のスタンディングを安里交差点で行いました。地域住民ら約30人が参加、思い思いのスローガンのパネルをかざしながら通行人や通り過ぎるバスや車両に向かって手を振りました。通り過ぎる車から熱心に手を振ってくれるなどの反応がありました。同島ぐるみの会では、2016年9月から毎週月曜日にスタンディングを継続、この日で147回目になります。会事務局の村山純さんは「継続こそ力です。これからも辺野古新基地建設を止めるまで続けます」と話していました。なお、同島ぐるみの会は、「タカラさんを励ますついで」を6月16日(日)午後6時30分、安里1区公民館で開きます。



「継続は力！」3年前から毎週月曜に
27日はタカラ参院選予定候補も参加

石川文洋さんが辺野古へ

「海はみんなの財産だ」

報道写真家の石川文洋さん(81歳、写真手前)は、昨年7月から自身2回目の徒歩での日本列島縦断中です。24日辺野古に到着し、平和丸から埋め立て工事現場を撮影、ゲート前では座り込んでいる人々と交流しました。石川さんは那覇市生まれで、ベトナム従軍カメラマンの経歴を持ち辺野古基金の共同代表も務めています。「辺野古の海は来るたびに制限区域が広がっている。海はみんなの財産で私のものである。近づいたら、海保から『出て行け』と言われたらひどい」と語っていました。



仲本会長、比嘉事務局長など選出 名護民商が第35回総会

名護民主商工会は25日、第35回定期総会を同会館で開催。業者の営業とくらしを守り、辺野古新基地建設反対の運動を進める方針を決定しました。特に今年度は学習を強化することを確認しました。仲本興真会長、比嘉末美事務局長ら新役員を選出しました。

